

資料 (単元「観光に生きる草津町」にかかわる評価規準)

1 単元の目標

群馬県内で産業や地形から見て特色のある草津町の様子について、地形図や写真、観光要覧等の資料から調べたり、草津町で働く人から話を聞いたりして、地域(草津町)の特色やよさを様々な面から考えるようにする。

2 単元の評価規準

【単元の評価規準を導き出すために参考とした内容のまとめりごとの評価規準】

「県(都、道、府)の様子」の評価規準

社会的事象への関心・意欲・態度	社会的な思考・判断	観察・資料活用の技能・表現	社会的事象についての知識・理解
県(都、道、府)の地形や産業、県(都、道、府)内の特色ある地域などの様子に関心をもち、それを意欲的に調べることを通して、地域社会の一員としての自覚をもつとともに、地域社会に対する誇りと愛情をもとうとする。	県(都、道、府)の地形や産業、県(都、道、府)内の特色ある地域などの様子から学習課題を見いだして追究・解決し、県(都、道、府)の特色や地域の人々の生活や産業と自然環境及び国内の他地域や外国との関連を考え、適切に判断する。	県(都、道、府)の地形や産業、県(都、道、府)内の特色ある地域などの様子を資料を活用したり白地図にまとめたりして調べるとともに、調べた過程や結果を工夫して表現する。	県(都、道、府)の特色を具体的に理解している。

【単元の評価規準及び学習活動における具体的評価規準】

	ア 社会的事象への関心・意欲・態度	イ 社会的な思考・判断	ウ 観察・資料活用の技能・表現	エ 社会的事象についての知識・理解
単元の評価規準	山地で寒冷地、観光地という特色をもつ草津町に住む人々の生活の様子に関心をもち、それを意欲的に調べることを通して、地域社会に対する誇りと愛情をもとうとする。	草津町の人々の暮らしについて学習課題を見いだして追究・解決し、人々の生活への工夫、草津町の人々の生活と自然環境・観光産業との関連、国内外の姉妹都市との関連を考え、適切に判断する。	草津町の土地利用の特色を地形図から読み取ったり、観光産業に関する資料を集めたり、様々な仕事に従事する人々へ取材したりして調べ、まとめる。	草津町に住む人々は、山地で寒冷地、温泉という自然環境を生かして生活し、観光を生かした産業に従事しながらくらししていることを理解している。
学習活動における具体的評価規準	①観光に生きる草津町の人々の生活に関心をもち、温泉、旅館、商店(土産物店)、スキー場、学校生活、日常生活、農作物、姉妹都市等について進んで調べようとする。 ②草津町のもつ独自性やよさに着目し、群馬県に対する誇りと愛情をもとうとする。	①観光に生きる草津町の人々の生活について学習課題を見だし、学習の見通しをもって、自分なりに追究している。 ②調べたことを基に、草津町に住む人々は自然環境や温泉を生かして生活を工夫していることを考え、適切に判断し、学習課題を解決している。	①地形図や写真等の資料から草津町の土地利用の特色や自然環境の特色を読み取れる。 ②草津町の観光施設、役場、住民などから働く人の工夫や努力、生活の工夫などを調査・取材したりして具体的に調べている。 ③取材、調査した過程や結果を分かりやすく表現している。	①草津町で観光産業が盛んなわけを恵まれた自然環境や働く人の工夫と関連付けて分かる。また、姉妹都市、観光客の集客圏などの例から草津町の観光産業は広く国内外の地域とつながりがあることが分かる。

3 指導と評価の計画

(研究内容編 4 ページを参照して下さい)

4 観点別評価

【社会的事象への関心・意欲・態度】

学習活動における 具体的評価規準		「十分満足できる」状況（A）を実現している と判断した児童の具体的な状況例	「努力を要する」状況（C）と判断 した児童への指導の手だて
ア①	観光に生きる草津町の 人々の生活に関心 をもち、温泉、旅館、 商店（土産物店）、ス キー場、学校生活、 日常生活、農作物、 姉妹都市等について 進んで調べようとす る。	・草津町について学習課題とできそうなことを 学級内で取材する活動の時、仲間に進んで質問 し、調べる課題や追究の視点を多く集めようと する姿が見られる。 (2/11)	・学級内の仲間になかなか取材をしよう としない子には、理由を聞き、初め のうちは一緒に取材活動をしたり、自 分にはない考えが見つかるかもしれな いと話して意欲を高めるように支援す る。(2/11)
		・学習課題が同じもの同士で積極的に意見交換 する中で、仲間の追究の視点を取り入れ、自分 で相手先への確に連絡をとる姿が見られる。 (3,4/11)	・調査や取材の過程で問題意識や追究意 欲を持続できない児童については、その 原因を探り、相談に乗ったり、適切にア ドバイスする。(3,4/11)
ア②	草津町のもつ独自性 やよさに着目し、群 馬県に対する誇りと 愛情をもとうとする。	・草津町の将来像を語る文や絵の中に、草津町 がよりよい方向に向かうようになってほしいと 読み取れる語句や記述がみられる。 (11/11)	・草津町も玉村町も同じ群馬県の中の 町であることを話しながら、草津町も 玉村町もよくなってほしいと思えるよ うに言葉掛けする。(11/11)

【社会的な思考・判断】

学習活動における 具体的評価規準		「十分満足できる」状況（A）を実現している と判断した児童の具体的な状況例	「努力を要する」状況（C）と判断 した児童への指導の手だて
イ①	観光に生きる草津町 の人々の生活につい て学習課題を見いだ し、学習の見通しを もって自分なりに追 究している。	・学習課題にできそうなものの中から自分の 学習課題を決め、それを追究する視点を複数 もつことができている。(2/11)	・学習課題を決められない子には、その子 が日頃からどんなことに興味をもっている かを考慮して、いくつか課題となりそうな ことを紹介し、その中から選べるようにす る。また、課題をもつだけで追究の視点を もてていない場合は、「課題のどんなこと を詳しく調べたいか」対話の中で具体的な 視点をもてるようにする。(2/11)
		・学習カードにしたがってグループ内で調べ る計画を話し合い、取材の準備を自分たち でできている。(3/11)	・調べる計画をうまく立てることができな い児童に対しては、学習カードを基に一 緒に計画を立てるようにする。(3/11)
イ②	調べたことを基に、草 津町に住む人々は自然 環境や温泉を生かして 生活を工夫している ことを考え、適切に判 断し、学習課題を解決 している。	・仲間の発表から草津町に対する知識を増や し、なるほどと思った事実を発見できた理由、 つまり追究の視点を見つけることができ ている。(7/11)	・仲間の発表から分かったことを学習プリ ントに書き込めていなかった児童に対 しては、個別に「初めて知ったこと」や「お もしろいところに目を付けていたな」と 思うことはなかったかどうか対話の中 で本人の考えを明らかにしていく。(7/11)
		・自分の学習課題と仲間の複数の学習課題と を線で結び、結んだ理由を自然環境や観光 産業、人々の願いや工夫・努力などの 意味や働きの面から記述できている。特 に、自分の学習課題から出た線がその 先の学習課題とつながっている。(8,9/11)	・自分の学習課題と仲間の学習課題と を線で結ばない児童に対しては、関係 が見つけられないような仲間の課題を 指示してあげたり、関連付けの視 点をヒントとして与えたりして、一つ でも関連付けを自分で見つけられる ように支援する。(8,9/11)
		・前時までに関連付けた草津町について の知	・思いつきで草津町の将来像を考 えている

	識の裏付けのもとに草津町の将来像が書けている。(10/11)	児童については、前時までいかなることも分かったか、それは確かな事実かどうかを意識するように言葉掛けしていく。(10/11)
--	--------------------------------	---

【観察・資料活用の技能・表現】

学習活動における 具体的評価規準		「十分満足できる」状況（A）を実現していると判断した児童の具体的な状況例	「努力を要する」状況（C）と判断した児童への指導の手だて
ウ①	地形図や写真等の資料から草津町の土地利用の特色や自然環境の特色を読み取れる。	・草津町は玉村町と比べて～なところですよ。」という文に、標高が高い、平均気温が低い、山がちな地形という3つがノートに書かれている。(1/11)	・草津町の自然環境に対してイメージがもてない児童には、立体模型図を用いて、高い・低い、山地・低地という比較の視点をもてるように個別に指導する。(1/11)
ウ②	草津町の観光施設、役場、住民などから働く人の工夫や努力、生活の工夫などを調査・取材したりして具体的に調べている。	・自分で相手先への確に連絡をとる姿が見られる。(3,4/11)	・調査や取材の過程で、問題意識や追究意欲を持続できない児童については、その原因を探り、相談に乗ったり、適切にアドバイスする。例えば、電話を一緒にかけたり、手紙を一緒に書いたりするなどして支援する。(3,4/11)
ウ③	取材、調査した過程や結果を分かりやすく表現している。	・調べようとした理由、調べた方法、分かった事実、それに対する自分の考えが書いている。また、写真や絵などを入れて工夫している。(5/11)	・調べたことをうまくまとめられない児童に対しては、見出しとする言葉を示したり、どんなことが分かったのか、どう思ったのかを質問しながら、本人の考えを引き出す。(5/11)
		・調べたことを聞き手を意識して分かりやすく発表している様子が見られる。(7/11)	・聞き手を意識せずただ発表している児童に対しては、その横に行き、聞き手に分かるような話し方で一緒に話したり、適切にアドバイスする。(7/11)

【社会的事象についての知識・判断】

学習活動における 具体的評価規準		「十分満足できる」状況（A）を実現していると判断した児童の具体的な状況例	「努力を要する」状況（C）と判断した児童への指導の手だて
エ①	草津町で観光業が盛んなわけを恵まれた自然環境や働く人の工夫と関連付けて分かる。また、姉妹都市、観光客の集客圏などの例から草津町の観光産業は広く国内外の地域とつながりがあることが分かる。	・前時まで関係がないと思っていた学習課題が実は意味や働きの面で関係があったという記述や感想がプリントやノートに書いてある。また、課題同士の結び付きについての話合いの中で結んだ線が増えていった様子が見て取れる。(8,9/11)	・プリントに課題同士の関係を結んだ線に理由が書かれていない児童に対しては、放課後個別に理由を聞いてみたり、ヒントを与えながら自分自身で意味や働きの面で結び付く理由が分かるように支援する。(8,9/11)

【観点別評価からの評価整理表】 ※ 毎時間毎、○の中にA, B, Cを記入していく。

観 点	学習過程における評価											単元の総括的評価	
	1時	2時	3時	4時	5時	6時	7時	8時	9時	10時	11時	観点別	目標準拠
ア 関心・意欲・態度		○	○								○		
イ 思考・判断		○	○			○		○		○			
ウ 技能・表現	○		○	○	○	○							
エ 知識・理解								○					